

第70代横綱日馬富士関がモンゴルウランバートルにて MA-T マウスウォッシュを活用した口腔衛生対策取組実施

MA-T マウスウォッシュ口腔ケア徹底で健康管理

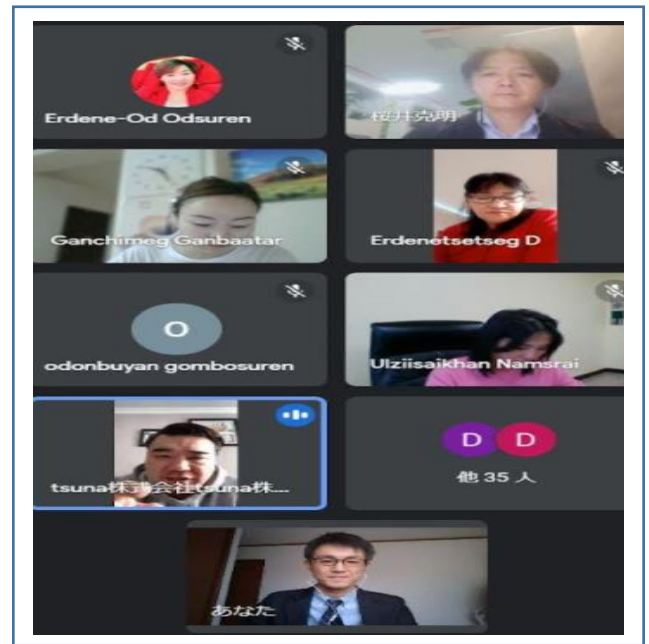
一般社団法人日本 MA-T 工業会（東京都千代田区、代表理事：川端克宜、以下「日本 MA-T 工業会」）が新モンゴル日馬富士学園（モンゴルウランバートル市、理事長：元横綱日馬富士ダワーニャムビヤンバドルジ）にて進める口腔ケア対策に協力しております。

2021 年末に日本 MA-T 工業会より同学園の先生 50 名向けに口腔ケア対策の重要性や MA-T マウスウォッシュの活用方法につき WEB 説明会を開催。その後同学園の 1662 名の生徒および 206 名の先生・スタッフへ通学後、昼食前、下校前での MA-T マウスウォッシュ取組徹底により衛生対策の習慣づけとともに健康管理を推進されています。

口腔ケア対策を進める日馬富士関



MA-T のモンゴル向け WEB 説明会



※新モンゴル日馬富士学園：日馬富士関が理事長を務めるモンゴルウランバートルの小中高校。生徒数が 1600 名、先生・スタッフが 200 名。将来世界で活躍できる人材を育成中。



※日本 MA-T 工業会：MA-T 活用のプラットフォームとなり、MA-T の普及と価値向上のため、オープンイノベーションの推進を目的とし、2020 年 11 月に設立。現在各業界を代表する企業を含む約 80 社が参画。



【MA-Tとは】

MA-Tとは革新的な酸化技術のシステムであり、衛生対策としても活用されています。MA-Tはプロ野球、Jリーグ・大相撲・劇団・オペラなどスポーツやエンターテインメントをはじめ、ほとんどの航空会社や大学病院・歯科医院・介護施設・老健施設・自治体・飲食店などで採用開始されています。

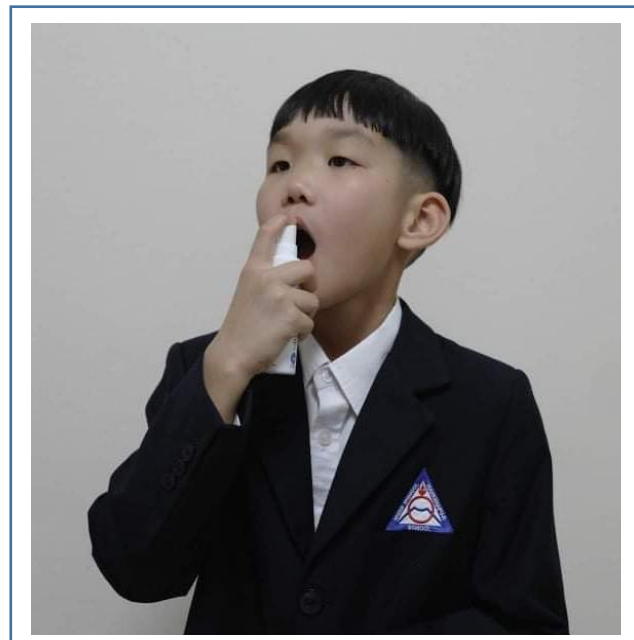
MA-T マウスウォッシュの使い方

MA-Tマウスウォッシュ使用方法（生徒）

小学生～高校生は…



新モンゴル日馬富士学園の生徒



【日馬富士関からのコメント】

モンゴルにおいてもウイルス性感染症を健康管理が課題になっております。多くの生徒を預かる立場として子供達の健康管理は最重要事項であると認識しております。特に口腔ケアは健康管理に重要であると考えており、日本の最新テクノロジーであるMA-Tを知り、ぜひ母国でも口腔ケアの習慣として活用したいという思いから日本MA-T工業会様に協力要請をしたものです。おかげさまでクラスターなど起こすことも無く、皆元気に授業を受けており、たいへん助かっております。また、親御さんからも多くの感謝の声をいただいております。今後モンゴルにて広く活用できれば幸いです。

【新モンゴル日馬富士学園 Yo ムンフジャラガル医師のコメント】

流行性ウイルスへの衛生対策としてMA-Tマウスウォッシュを活用した口腔ケア取組を開始、2021年11月15日から現在まで使用しています。新モンゴル日馬富士学園ではMA-Tマウスウォッシュの口腔ケアを使用中には昨年と比較すると感染率55-60パーセントを低下した状況です。

また、ハンオール区の1600人の生徒、180人の教師と従業員が務めている第75番小中高等学校（ウランバートル市ハンオール区の学校）と比較すると新モンゴル日馬富士学園での感染者率が40-45パーセント低い現状です。

【お問い合わせ窓口】

一般社団法人 日本MA-T工業会

TEL 03-4572-0648

<http://matjapan>